高知県(県庁支援チームによる市町村支援)

- ▶ 市町村における制度の円滑な運用に向けて、県庁と出先事務所(6箇所)に市町村の支援チームを設置。
- ▶ 支援チームにより出先林業事務所単位のワーキンググループの開催や新聞広告による制度周知などを実施し、市町村の取り組みを 支援した。
- ▶ 取り組みが進まない市町村の個別課題に応じて、オーダーメイド型の支援を重点実施。

事業内容

1 森林経営管理制度推進事業

- 市町村支援員を配置し、出先事務所単位のワーキンググループの開催に より市町村の取り組み検討と実施を支援
- 森林経営管理制度に係る市町村職員向けの研修会の開催
- 新聞広告により県が一括して制度を周知

【事 業 費】18.111千円(うち譲与税17.897千円)

【実 績】ワーキンググループ開催:13回

研修会(制度)開催:2回155人参加,新聞広告2回

2 林業大学校(短期課程)研修等委託料

• 市町村職員向け林務担当基礎研修会の開催

【事 業 費】1.545千円(うち譲与税1.545千円)

【実 績】研修会(基礎)開催:5回51人参加



研修会開催の様子



事業スキーム

取組の背景

• 森林経営管理制度は市町村が主体となり運用する制度であるが、林業 専任の担当者を設ける市町村が少ない等、実施体制が十分ではない。

工夫・留意した点

- 林業事務所単位での取り組みを基本とし、ワーキンググループに参加 しやすい環境づくりや、きめ細かな対応等、市町村に配慮
- 広域的に県が実施することが効率的な取り組み等を積極的に実施

取組の効果

• 26市町村の意向調査の実施と4市町の集積計画の作成につながった。

□ 基礎データ

①令和 4 年度譲与額: 203.224千円 ②私有林人工林面積(※1):241,921ha ③人口(※2):691,527人 ④林業就業者数(※2):2,394人

※1: 「2020農林業センサスより」より、※2: 「R2年国勢調査」より

新聞広告の内容(高知新聞R4.12.22朝刊)

高知県(精度の高い森林情報等の活用による市町村支援)

- ▶ 精度の高い森林情報や森林経営管理制度に係る事務の効率化につながる仕組みを活かして市町村を支援する。
- ▶ 令和4年度は航空レーザ測量データを用いて整備した森林情報を搭載した森林クラウドの整備委託業務や、情報利用による森林調査や 管理の効率化に向けたQGISサポート業務を実施した。

□ 事業内容

(1) 森林クラウド整備等委託料

• 林地台帳共有システム等のクラウド化による新規システムの整備及び運営業務を実施

【事 業 費】22,330千円(うち譲与税22,330千円)

【実 績】クラウドの導入:全34市町村

(2)スマート林業支援業務委託料

• 精度の高い地形及び森林資源情報の有効的な利活用を進めるため、林業事業体等が使用するQGISやドローン等に関するサポート業務を実施

【事 業 費】13,420千円 (うち譲与税13,420千円)

【実 績】 QGISサポート研修等への参加者:62人

□ 取組の背景

- 県内市町村では専門知識を有する人員の不足や、異動によりノウハウがリセットされることが課題
- 森林情報の把握や業務の効率化を図るため、森林クラウドやスマート林業への支援が必要

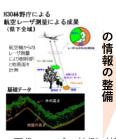
□ 工夫・留意した点

- スケールメリットを活かし、県庁が広域的に一括して整備
- •情報を利活用するためのサポート業務を専門的な知識を有する企業に委託

□ 取組の効果

- 34市町村で森林クラウドが導入され、地図と紐付いた精度の高い森林情報がどの市町村でも業務で活用できる環境となった。
- 研修やサポート等により、新しい林業担当者でも精度の高い地形 及び森林資源情報に対する知識を得ることができる。

事業(1): 精度の高い森林情報を業務に活用









画像:アジア航測(株)

事業(2): QGIS等サポート業務の概要

┃スタートアップ研修会

QGIS

操作レベルに応じて 研修を実施

> 1日目:初級向け 2日目:中級向け



ドローン等

ドローンやGNSS 測量機器の研修を 実施

> 1日目:座学 2日目:現地



総合支援サイト

QGIS利用に役立つ 専用Webサイトを開設







画像:アジア航測(株)

基礎データ

①令和 4 年度讓与額:203,224千円 ②私有林人工林面積(※ 1):241,921ha
③人口(※ 2):691,527人 ④林業就業者数(※ 2):2,394人

※1:「2020農林業センサスより|より、※2:「R2年国勢調査|より